石川　勝　（いしかわ　まさる）

プランナー／プロデューサー
株式会社シンク・コミュニケーションズ　代表取締役
2025 年大阪・関西万博　会場運営プロデューサー

1963 年札幌市生まれ。プランナーとして、イベントプロモーション、文化･商業施設開発、コミュニケーションデザイン分野で実績を積み、2004 年株式会社シンク・コミュニケーションズ設立。博覧会や展示会を数多く手掛け、2005 年愛知万博ではチーフプロデューサー補佐として基本計画策定に従事、ロボットプロジェクト、愛･地球広場、極小 IC 入場券をプロデュースした。
ロボット分野、コンテンツ技術分野に専門性を持ち、2006 年から 2016 年までの 10 年間、東京大学 IRT 研究機構プロジェクトマネージャー・IRT コンテンツ部門長。「先端融合領域イノベーション創出拠点（少子高齢社会と人を支える IRT 基盤の創出)」などの産学連携事業を推進。

■主な職歴
2025 年大阪・関西万博 会場運営プロデューサー（2020-）
大阪公立大学 客員教授（2020-2023）
愛知県「サービスロボットショーケース推進事業」プロデューサー（2019-2023）
経済産業省 デジタルコンテンツ EXPO エグゼクティブプロデューサー（2007-2017）
東京大学 IRT 研究機構 特任研究員 プロジェクトマネージャー兼 IRT コンテンツ部門長（2006-2016）
東京大学大学院情報理工学研究科知能機械情報学専攻 非常勤講師（2007 年）
経済産業省「技術戦略マップ（コンテンツ分野）」委員（2008-2015）
経済産業省「今年のロボット」大賞 推進委員・事務局長（2006-2008)、審査委員（2010）
上海万博 日本政府館ロボット出展事業 実行委員長（2010）
2005 年日本国際博覧会 ロボットプロジェクト プロデューサー（2003-2005）
2005 年日本国際博覧会 愛・地球広場 企画編成プロデューサー(2003-2005)
2005 年日本国際博覧会 チーフプロデューサー補佐（2002-2005）

■著書、論文
- 「ロボット技術による高齢社会の課題解決と国際市場でのイニシアチブ獲得を同時に実現する官民パートナーシップ（PPP）の重要性」日本生活支援工学会誌 17(1), 40-43, 2017-06
- Home-Assistant Robot for an Aging Society. (Kimitoshi Yamazaki, Ryohei Ueda, Shunichi Nozawa, Mitsuharu Kojima, Kei Okada, Kiyoshi Matsumoto, Masaru Ishikawa, Isao Shimoyama, Masayuki Inaba) Proceedings of the IEEE, 2012
- 「バーチャルリアリティ学」(共著：ＶＲコンテンツ　ロボティクス担当執筆）ＶＲ学会（2010/1）
- 「愛・地球博に見る新技術とロボットプロジェクト」（社）情報処理学会音声言語情報処理研究会(2006/2)
- 「万博でプロトタイプロボットをどう見せるか」日本機械学会日本機械学会誌 7 月号付録（2005/7）